

授業上達への道

11月15日（木）に行われた第3回高等部支部ブロック学習会は、今年度より各特別支援学校に配付されたタブレット端末を活用した授業づくりの視点での学習会となりました。今回は、前年度よりタブレット端末が先行配付され、実践をされている西養護学校での取り組みを紹介していただきました。

今日は授業で使える様々なアプリケーションを紹介します



まずは、操作に慣れよう…



グループ機能を使うと、端末に入力した内容を、同じグループの仲間に簡単に送ることができました。



「使いこなそう！スカイメニューアプリ」

西養護学校 藤原公平先生より、授業で使えるアプリケーションとして、「リーフレット」「発表ノート」「インターバル動画編集」などを紹介していただき、参加していただいたみなさんに操作してもらいながら、授業場面での活用例やトラブルが起きたときの対処法を教えてくださいました。生徒が主体的に学ぶために、タブレット端末を有効に活用していくことができると良いですね。教科によってアプリケーションを使い分けていくこともできそうです。アナログ、デジタル、それぞれの良さを生かしていくことが大切であると感じました。
(文責：南養護学校 鈴木優子)

- ☆アンケートより
- 使いこなせたら授業の幅も広がると思いました。
 - 作業でも総合の授業でもいろいろな場面で使えるのではないかと可能性を感じました。
 - 指導者がしっかりマスターすることがスムーズな授業につながるため、普段から積極的に活用していく必要があると感じました。

☆次回のお知らせ【12月6日（木）18：30～ 西養護学校ランチルーム】 「学級経営の極意」

西養護学校 中学部教務主任 桐山健一先生より、お話をさせていただきます。個へのアプローチだけでなく、集団の力を生かしていくためのノウハウを教えてくださいました。みなさまのご参加をお待ちしております。

